

食品・飲料 84 品目、伸びた市場・縮んだ市場が一目で分かる！

「マーケットトレンドレポート 2013」発売

2013 年 3 月 25 日
株式会社日経リサーチ

株式会社日経リサーチ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中村 良)は 25 日、食品・飲料市場 84 カテゴリー(品目)の動向を独自の手法で分析したデータ集「マーケットトレンドレポート 2013」を発売しました。

このレポートは、日本経済新聞デジタルメディアの店頭販売情報「日経POS」と、全国約3万人の購買データを収集した消費者購買情報「QPR」という、定評のある2つの量的データを駆使し、独自の観点で市場動向を分析したデータ集です。レポートは半年に1回、過去1年分のデータをまとめて刊行していません。今回は第3号となり、2012年1月~12月のデータを収録しています。

本レポートの特長は次の通りです。

- ◎前年データも掲載しているので、品目別に伸びた市場・縮んだ市場などが簡単に比較できる。
- ◎「日経POS」と「QPR」のいいとこ取り。幅広いカテゴリーや最新商品の動向も把握可能。
- ◎どんな顧客がどんな業態の店舗で購入しているか、同時に何を買っているかまで分かる。
- ◎卵、バナナなどカテゴリーにない商品もリクエストに応じデータ提供(要お問い合わせ)

2012年に市場が大きく伸びた品目のトップ3は

1位:ウーロン茶・健康茶(飲料除く)、2位:アルコールテイスト飲料類、3位:酒類関連飲料で、いずれも2ケタ以上の伸びとなりました。さらに、今回のレポートには、
*震災の影響で水、調味料などが伸びた2011年から、消費動向にどんな変化があったのか
*新タイプの即席袋めんや塩こうじなど、大ヒット商品は関連市場にどんな影響を与えたのか
*野菜ジュース、シリアル類、炭酸飲料などの市場が、2012年に大きく拡大したのはなぜかなど、商品販売戦略に役に立つ、興味深いデータが満載です。

食品・飲料市場の基礎資料として、事業戦略の立案、商品開発、販売計画の策定などマーケティングのあらゆるプロセスで、また商談や販促活動など様々な場面で、ぜひご活用ください。

レポートは「乳製品・パン・嗜好品」、「RTD*飲料」、「調味料・甘味料」、「加工食品」、「菓子類」、「酒類」の6つに分類されており、分類別のエクセルファイルでご提供いたします。1品目当たり9~10ページで、全体では約800ページになります。

*RTD: Ready To Drink の略。購入後、そのまま飲める飲料のこと。

>>詳しくはマーケットトレンドレポートのホームページ

(<http://www.nikkei-r.co.jp/service/consume/market4.html?20130325b>)をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 **日経リサーチ**

事業開発本部 CRM コンサルティング部 担当:飯塚
TEL: 03-5296-5103 (平日 9:00~18:00)
FAX: 03-5296-5124
E-Mail: posdata@nikkei-r.co.jp